

金沢市工芸協会について

金沢市工芸協会は、大正 14 年 5 月に市内在住の工芸家 135 名により、本会の前身である金沢市意匠図案研究会として設立されました。以来、会員相互の切磋琢磨と交流を深めながら、工芸技術の研鑽に励み、昨年 100 周年を迎えることができました。

陶芸、染色、漆芸、金工、木竹工など多岐にわたる分野において、我が国を代表する作家をはじめとする会員が、戦時中の困難な状況をも乗り越えて 81 回にわたる工芸展を開催するなど、一世紀の長きにわたり本市に息づくものづくりの心を受け継ぎ、新しい工芸の創造につながる活動を続けてまいりました。

これからも、地域に根差した活動に加え、デジタルを活用した工芸の普及促進、国際的な展覧会の開催や海外への作家の派遣を通した工芸の世界発信など、本市の文化の継承と発展に向けて取り組んでまいります。

沿 革

大正 14 年	金沢市工芸協会の前身である金沢市意匠図案研究会設立
昭 和 8 年	金沢市意匠図案研究会 第 1 回作品展開催
昭和 20 年	金沢市意匠図案研究会を金沢市工芸研究会に改称
昭和 21 年	第 5 回金沢市工芸展覧会開催、以後、毎年定期的に開催
昭和 32 年	金沢市工芸研究会を金沢市工芸協会に改称
昭和 59 年	展覧会名称を金沢市工芸展に改称
昭和 62 年	第 1 回工芸祭 ’87 「ひと・器・出会い」 展開催
平成元年	金沢市制 100 周年を記念し、第 1 回金沢工芸大賞コンペティション開催
平成 7 年	本協会の提唱により金沢市が「世界工芸都市宣言」を行う
平成 8 年	世界工芸都市宣言記念 第 52 回金沢市工芸展開催
平成 9 年	世界工芸都市会議・金沢 ’97 開催、金沢工芸ミッションを派遣（欧州）
平成 11 年	金沢工芸大賞コンペティションを世界工芸コンペティション・金沢に改組し、国際公募展開催
平成 17 年	全州市で開催の金沢市工芸作家招待展に出展
平成 22 年	第 1 回金沢・世界工芸トリエンナーレ開催
平成 23 年	ユネスコ創造都市へ研修生を派遣
令和 2 年	金沢市デジタル工芸展配信開始
令和 6 年	第 80 回記念金沢市工芸展開催、同記念誌発刊
令和 7 年	第 15 回国際伝統芸術招待展に出展（中国・上海市）
令和 7 年	金沢市文化賞受賞